

2023年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	情報技術と職業__実践 (Information Technology at Work Place - practice)		
ナンバリングコード	P31603	大分類 / 難易度 科目分野	情報メディア学科 専門科目 / 応用レベル キャリア開発
単位数	2	配当学年 / 開講期	3年 / 通年
必修・選択区分	選択 ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	P160301	クラス名	-
担当教員名	松永 多苗子、赤星 哲也、濱田 大助、星芝 貴行、高 文局、坂井 美穂、足立 元、吉森 聖		
履修上の注意、履修条件	課題に対する取り組み等を重視します。出席を欠かさないで下さい。 全員、履修してください。(学科推奨科目)。履修制限: 当該学年次のみ履修可、再履修: 不可 授業時はもちろん、各自の主体的な学内外での取り組みも重要になります。 他は備考欄を参照ください。		
教科書	必要に応じて教員が資料を作成し配布します。		
参考文献及び指定図書	必要に応じて教員が指示します。		
関連科目	各種専門科目、社会参画系授業、情報技術と職業入門、演習		

○基本情報			
授業の目的	4年間で取り組んでいるキャリア教育プログラムの3年目のステップです。 主テーマ 将来に向けた道を見つつ、基礎能力を付ける。主体的活動能力を習得し、社会を知る。 大学卒業後の進路を目標と設定し、その進路を実現するために、在学中における様々な取り組みを行います。		
授業の概要	授業の中で実施される様々な講演等や学科内で実施されるイベント・発表会への参加とその準備を通して、企業研究及び自己分析を進めます。2年生科目である「情報技術と職業-演習」と同じ題材を使って実施することで、より深い自己分析や企業情報の読み解きを行います。		
授業の運営方法	(1) 授業の形式	「講義形式」	
	(2) 複数担当の場合の方式	「オムニバス方式」	
	(3) アクティブ・ラーニング	「実習、フィールドワーク」	
地域志向科目	カテゴリー II : 地域での体験交流活動を教育内容に含む科目		
実務経験のある教員による授業科目	該当しない		

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確)	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	具体的な就職活動に向けた実践的学習。就職活動に向けた準備		25点	
【知識・理解】	各種業界や企業、就職活動の選考会に向けた知識		25点	
【技能・表現・コミュニケーション】	Webページを正しく読み解く力、目標を立てて計画を立てる能力の育成		25点	
【思考・判断・創造】	就職活動に向けた実践的な判断ができる		25点	

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)	
レポート提出状況および記載内容で評価します。 到達目標に対する達成水準の目安は以下の通りです。 [Sレベル]単位を取得するために達成すべき到達目標を十分に満たしている。(成績評価基準点の合計が90点以上) [Aレベル]単位を取得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。(成績評価基準点の合計が80点～89点) [Bレベル]単位を取得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。(成績評価基準点の合計が70点～79点) [Cレベル]単位を取得するために達成すべき到達目標を一部満たしている。(成績評価基準点の合計が60点～69点)	
提出物へのフィードバックは、次週の授業で行います	

○その他	
出席管理の方法については、第1回授業時に説明します。所定の方法で出席登録をしない場合、欠席と記録します。 授業プログラムは、シラバスに沿って実施しますが、受講生の進捗状況や、社会情勢を考慮しながら、再調整することがあります。	
スケジュール管理、タスク管理も非常に重要です。授業での課題、演習を通して修得しましょう。 課された課題への取り組みが非常に重要です。さらに各自でさらなる技能修得や知識の応用など、自主的な取り組みが非常に重要です。	
授業プログラムは、シラバスに沿って実施しますが、受講生の進捗状況や、社会情勢を考慮しながら、再調整することがあります。	
本授業は2年生科目である「情報技術と職業-演習」と共同で実施します。	

2023年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科目名	情報技術と職業 実践 (Information Technology at Work Plac	授業コード	P160301
	担当教員	松永 多苗子、赤星 哲也、濱田 大助、星芝 貴行、高 文局、坂井 美穂、足立 元、		
学修内容				
1. ガイダンス 本授業での取り組みについて説明を行いません。				
	予習	進路の方向性について見つめ直しておいてください。		約2時間
	復習	今期の取り組みについて整理し、課題や基礎学力の改善に取り組みなさい。		約2時間
2. 業界の実際(現実) 学生諸君が目指す各業界で、実際に取り組まれている事項について解説します。これらから、理想としてとらえている業界と、現実に業界で取り組まれていることの違いを学びます。				
	予習	将来の方向性の具体的な進路先になる企業や団体について調査しておきなさい。		約2時間
	復習	講義から学んだことをまとめ、将来の方向性について見つめなおし、理解を深めておくこと。		約2時間
3. 企業の方々のお話① 企業で活躍されている方々から、業界の実際についてお話をいただきます。講演後の質疑応答時間にて、質問能力などの育成も行います。				
	予習	講演企業について、各自で調査を行い、当日、担当者に質問することを準備しなさい。		約2時間
	復習	講演企業に関連する企業について、各自で調査を行い、まとめておきなさい。		約2時間
4. 企業の方々のお話② 企業で活躍されている方々から、業界の実際についてお話をいただきます。講演後の質疑応答時間にて、質問能力などの育成も行います。				
	予習	講演企業について、各自で調査を行い、当日、担当者に質問することを準備しなさい。		約2時間
	復習	講演企業に関連する企業について、各自で調査を行い、まとめておきなさい。		約2時間
5. 業界研究① 将来に向けた、まずの1歩として業界について調査に取り組みます。まず練習を行い、その後、各自でワークに取り組み、調査研究能力を習得します。				
	予習	将来の方向性について仮に確定しておいてください。		約2時間
	復習	各自での計画立てた取り組みを行ってください。		約2時間
6. 業界研究② 将来に向けた、まずの1歩として業界について調査に取り組みます。まず練習を行い、その後、各自でワークに取り組み、調査研究能力を習得します。				
	予習	前回調査した内容を見直しておきなさい。		約2時間
	復習	調査結果を整理しなさい。		約2時間
7. 業界研究③ 将来に向けた、まずの1歩として業界について調査に取り組みます。まず練習を行い、その後、各自でワークに取り組み、調査研究能力を習得します。				
	予習	前回調査した内容を見直しておきなさい。		約2時間
	復習	調査結果を整理しなさい。		約2時間
8. 業界研究④ 将来に向けた、まずの1歩として業界について調査に取り組みます。まず練習を行い、その後、各自でワークに取り組み、調査研究能力を習得します。				
	予習	前回調査した内容を見直しておきなさい。		約2時間
	復習	調査結果を整理しなさい。		約2時間

○授業計画	科目名	情報技術と職業 実践 (Information Technology at Work Plac	授業コード	P160301
	担当教員	松永 多苗子、赤星 哲也、濱田 大助、星芝 貴行、高 文局、坂井 美穂、足立 元、		
学修内容				
9. インターンシップ体験談・説明会 昨年度、インターンシップに取り組んだ学生から、インターンシップの体験談の発表を聞き、企業の中での業務や、企業について知ります。さらに、今年度のインターンシップ受け入れ企業についても学習し、自主的にインターンシップに取り組みます。				
	予習	インターンシップに行く上での疑問や不安についてまとめておきなさい。		約2時間
	復習	インターンシップを希望する分野について受け入れ企業やスケジュール・制度について調査し、エントリーしな		約2時間
10. 自己分析① 将来の方向性に向けたワークを通して、客観的に自己を見つめなおし、自己分析をおこないます。				
	予習	これまで実施した活動内容・結果をまとめておきなさい。		約2時間
	復習	分析内容の報告		約2時間
11. 自己分析② 将来の方向性に向けたワークを通して、客観的に自己を見つめなおし、自己分析をおこないます。				
	予習	前回のワーク内容をまとめておきなさい。		約2時間
	復習	分析内容の報告		約2時間
12. 自己分析③ 将来の方向性に向けたワークを通して、客観的に自己を見つめなおし、自己分析をおこないます。				
	予習	前回のワーク内容をまとめておきなさい。		約2時間
	復習	分析内容の報告		約2時間
13. 自己分析④ 将来の方向性に向けたワークを通して、客観的に自己を見つめなおし、自己分析をおこないます。				
	予習	前回のワーク内容をまとめておきなさい。		約2時間
	復習	分析内容の報告		約2時間
14. 卒業研究中間発表 卒業研究中間発表会に参加し、どのようなテーマの研究が行われ、どのように取り組んでいるかを理解します。				
	予習	卒研中間発表会要領から、興味のあるテーマを見つけておきましょう。		約2時間
	復習	聴講した内容に関して、レポートを作成します。		約2時間
15. ガイダンス 前期の締めくくりとして、ガイダンスを行います。また期末小テストの結果と時事問題の結果から、今後の学習計画について再度検討します。				
	予習	今期の取り組みについて振り返っておきなさい。		約2時間
	復習	各自で立てた計画に沿って学習に取り組みなさい。		約2時間
16.				
	予習			
	復習			

2023年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科目名	情報技術と職業 実践 (Information Technology at Work Plac	授業コード	P160301
担当教員	松永 多苗子、赤星 哲也、濱田 大助、星芝 貴行、高 文局、坂井 美穂、足立 元、			
学修内容				
17. ガイダンス・企業訪問報告 今期の取り組みについてガイダンスで解説します。また、夏休み期間中に企業訪問した結果について解説します。				
予習	夏休みの取り組みを振り返り、後期の取り組みについて考えておいてください。			約2時間
復習	今期の取り組み予定について整理しておいてください。			約2時間
18. 一般常識模試 各種進路の試験において、基礎学力が求められます。まずは各進路に対し、必ず課される筆記試験について、解説を行います。その後、選考会における姿勢や態度について解説します。さらに、基礎学力(一般常識)について試験を取り組みます。				
予習	受験料の支払いと、基礎学力の改善。			約2時間
復習	試験結果から各自で自己採点を行い、弱い部分について各自で勉強に取り組み始めます。			約2時間
19. 企業研究① 対象とする企業について5回の授業で研究に取り組みます。まずは練習として演習課題に取り組みながら、企業研究の方法について学習します。その後、各自で調査に取り組みまとめます。				
予習	企業研究に取り組む分野について考えておいてください。			約2時間
復習	学習した企業研究の方法について、各自で振り返っておいてください。			約2時間
20. 企業研究② 対象とする企業について5回の授業で研究に取り組みます。まずは練習として演習課題に取り組みながら、企業研究の方法について学習します。その後、各自で調査に取り組みまとめます。				
予習	各自で実際に自分で調査する分野について、考えておきなさい。			約2時間
復習	選択した分野において、企業調査に取り組みなさい。			約2時間
21. 企業研究③ 対象とする企業について5回の授業で研究に取り組みます。まずは練習として演習課題に取り組みながら、企業研究の方法について学習します。その後、各自で調査に取り組みまとめます。				
予習	業界研究に取り組んだ結果をまとめておきなさい。			約2時間
復習	選択した分野において、企業調査に取り組みなさい。			約2時間
22. 企業研究④ 対象とする企業について5回の授業で研究に取り組みます。まずは練習として演習課題に取り組みながら、企業研究の方法について学習します。その後、各自で調査に取り組みまとめます。				
予習	業界研究に取り組んだ結果をまとめておきなさい。			約2時間
復習	業界研究に取り組んだ企業について、整理しておきなさい。			約2時間
23. ワーク② 一般常識模試結果・ワーク 第18週に取り組んだ一般常識模試の結果から、各自の学力について見つめ直します。さらに、試験結果を受け、今後の学習計画の立案に取り組みます。				
予習	一般常識模試の問題用紙、回答と解説に目を通しておいてください。			約2時間
復習	学習計画に則り、各自で学習に取り組みます。			約2時間
24. 就活体験談 本年度の就職活動生で内定取得者が、就職活動にて取り組んだことを、全学生に向けて発表します。学生は、話から就職活動に向けて取り組むことを学習します。また諸先輩方からお話を聞いたり、質問することから、コミュニケーション能力の習得にも取り組みます。				
予習	描いている将来像に到達するために必要な取り組みについて整理しておいてください。			約2時間
復習	諸先輩方からのお話や質問から、各自が取り組むことの再調整と具体的な取り組みを行ってください。			約2時間

○授業計画	科目名	情報技術と職業 実践 (Information Technology at Work Plac	授業コード	P160301
担当教員	松永 多苗子、赤星 哲也、濱田 大助、星芝 貴行、高 文局、坂井 美穂、足立 元、			
学修内容				
25. 卒業研究発表会 卒業研究発表会に参加し、どのようなテーマの研究が行われ、どのように取り組んでいるかを理解します。				
予習	学内外での実物体験に対応できるイベントの調査と計画			約2時間
復習	取り組みからレポートへの取り組みと報告			約2時間
26. 企業研究⑤ 対象とする企業について5回の授業で研究に取り組みます。まずは練習として演習課題に取り組みながら、企業研究の方法について学習します。その後、各自で調査に取り組みまとめます。				
予習	学内外での実物体験に対応できるイベントの調査と計画			約2時間
復習	取り組みからレポートへの取り組みと報告			約2時間
27. 自己分析⑤ 前期に行った自己分析から半年たった状況で、再度、ワークを通して客観的に自己を見つめなおし、自己分析をおこないます。				
予習	前期の時点での自己分析状況をまとめておきなさい。			約2時間
復習	取り組みからレポートへの取り組みと報告			約2時間
28. 自己分析⑥ 前期に行った自己分析から半年たった状況で、再度、ワークを通して客観的に自己を見つめなおし、自己分析をおこないます。				
予習	前回のワーク内容をまとめておきなさい。			約2時間
復習	分析内容の報告			約2時間
29. 自己分析⑦ 前期に行った自己分析から半年たった状況で、再度、ワークを通して客観的に自己を見つめなおし、自己分析をおこないます。				
予習	前回のワーク内容をまとめておきなさい。			約2時間
復習	分析内容の報告			約2時間
30. 自己分析⑧ 前期に行った自己分析から半年たった状況で、再度、ワークを通して客観的に自己を見つめなおし、自己分析をおこないます。				
予習	前回のワーク内容をまとめておきなさい。			約2時間
復習	分析内容の報告			約2時間
31. ガイダンス・期末小テストワーク・学習計画 第29週に取り組んだ期末小テストの結果から、各自の現時点の能力を確認します。結果を踏まえ、1年後に始まる就職活動に向け、改善すべきポイントを捉え、学習計画を立案します。				
予習	今期の取り組みについて振り返っておいてください。			約2時間
復習	各自で計画に沿って学習に取り組みなさい。			約2時間
32.				
予習				
復習				